

第2580地区

東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

2014～2015 年度スローガン

奉仕の輪 友情の輪 ニッ揃って

『ロータリーの大きな和』

第16回（通算1525回）2014年11月4日

◆ ◆ ◆ 本日の例会 ◆ ◆ ◆

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 〈1〉 開会点鐘・会長挨拶 | 11月結婚記念日 結婚記念日の歌 |
| 〈2〉 国歌斉唱「君が代」 | 原田会員 2日 松林会員 6日 |
| 〈3〉 ロータリーソング「奉仕の理想」 | 小林会員 12日 榎本会員 16日 |
| 〈4〉 ビジター紹介 | 白石会員 19日 佐野会員 25日 |
| 〈5〉 幹事報告 | 〈7〉 出席状況報告 |
| 〈6〉 11月誕生日お祝い 誕生日の歌 | 〈8〉 メイクアップ報告 |
| 牧 会員 17日 白石会員 19日 | 〈9〉 委員会報告 |
| 山田会員 25日 原田夫人 8日 | 〈10〉 ニコニコBOX 報告 |
| 佐野夫人 27日 | 〈11〉 閉会点鐘 |

◆ ◆ ◆ 本日の卓話 ◆ ◆ ◆

本日の卓話

「 刑事事件について -警察,検察の裏話の前提となる基礎知識- 」

内尾武博会員

次週の例会 <11/11> 例会休会日(11/13 開催 中央分区 IM 振替)
次々週の卓話<11/18>「R 財団月間に因んで(仮)」 小林地区ポリオプラス委員長

◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2014年10月28日 第15回(通算1524回)

開会点鐘 谷津会長 B1「白鳳の間」

*ゲスト紹介 1名 秋元健策氏(卓話講師)

*出席報告

出席 16名 欠席 15名 (免除者3名)

出席率 57.14% 補正出席率(10/14)89.28%

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1. ローターレート、来月は今月と同じく106円です。
2. 11月4日、12時より、会長ノミニー推薦指名委員会、続いて諮問委員会を開催いたします。出席予定者はお忘れなくお願いいたします。
3. IMの登録料のお支払いをお願いいたします。クラブが2千円を負担いたしますので、本会議のみ出席の方は3千円、懇親会まで参加の方は8千円の支払いをお願いいたします。できれば、本日、大野さんにお支払い下さい。領収証を用意しています。
4. RIより人頭分担金の支払い方法の変更に関してウェブでセミナーを開催致します。関係者にはメールでご案内しておりますが、ご興味のある方は参加できますので私まで、お申し出下さい。
5. 2580地区ゴルフ決勝大会に参加される皆様には来週の例会で参加費一万円のお支払いをお願いいたします。

◆◆◆ ニコニコBOX報告 ◆◆◆

渡辺会員：結婚記念日のお花をいただきました。

今年の阿佐ヶ谷ジャズストリートは天候に恵まれ大盛況でした。御協力ありがとうございました。

古内会員：ひさしぶりです。広報活動、東京保谷RCで最後です。榛村会員よろしくお願ひします。

前田会員：鈴木会員、キャラバンの代役、感謝します。程ヶ谷ゴルフ頑張ってます。

鈴木会員：秋元さん、お世話様です。

松林会員：ニコニコと。

今週の合計 5件 19,000円

今期の累計 507,459円

◆◆◆ 先週の卓話 ◆◆◆



「中野区社会福祉協議会の取り組みと最近の地域福祉の動向」

—中野区民地域福祉活動計画の取り組み—

社会福祉法人中野区社会福祉協議会
事務局次長 秋元健策氏

近年の「消えた高齢者」、「孤独死」、「無縁社会」等の社会問題や、「3・11(東日本大震災)」を経て私たちが感じたのは、人と人との『絆・つながり』の大切さである。しかし、そこに立ちはだかる大きな壁となっているのは「社会的孤立」という課題である。

国際的にみても日本は「社会的孤立度が高い」といわれている。情緒的なつながりや戦前の「隣組」のような近所づきあいが強いという一般的な感覚からすると意外とも思えるが、私たち福祉現場で働くものとしてはむしろ深刻な課題と感じている。それは日本人がその文化的、歴史的な中で「ウチ」、「ソト」という固有の考え方、身内に対する過剰なまでの気遣いや同調性がある反面、集団の「外」に対しては無視か潜在的な敵対関係となりがちで、集団が「内側に向かって閉じる傾向」となっている面があることが要因とも考えられる。現在は、集団の基礎単位であった「家族」関係も崩壊しつつあり、いわゆる「ムラ社会」が「個人」の単位まで縮小され、内向きに閉じる結果として「社会的孤立」をより一層深刻にしているのではないだろうか。

そこから起因する福祉ニーズは、ますます潜在化していき、結果として「孤独死」や「虐待」という社会問題に行き着く。福祉サービスも制度があってもそれが行き届かない、また、顕在化したニーズを相談機関としてつなげても現状の制度では対応できないなど、「制度のはざま」の課題も大

きくなっている。制度の充実もさることながら、社会的な孤立を乗り越えるためには、「ソーシャルインクルージング(社会的包摂)」と「ノーマライゼーション(平常化・日常化)」という基本的な思想に基づく地域のつながりの再生が求められている。中野区社会福祉協議会では、「地域福祉を推進する機関」としての役割を果たすべく、社会的孤立を生まない地域を作るために、今年度「第3次中野区民地域福祉活動計画」を中野区民とともに策定した。四つの基本目標ごとの取り組みを現在進めているところである。「社会福祉協議会」は各自治体に設置されている民間団体であり、各地域特有の活動を行っている。しかし、この社会的孤立の課題は共通の課題として取り上げており、今後様々な活動を展開していく予定である。各地域の社会福祉協議会へのご支援、ご協力をお願いできれば幸いです。

2013-14 年度 R 財団奨学生

大軒恵美子さん留学辞退に関する報告

当クラブが支援していた奨学生大軒恵美子さんが、留学を辞め就職することとなりました。

下記は大軒さんからいただいた退学の理由やその決意です。誠に残念ではありますが、大軒さんの意志を尊重し決心した将来へ向け頑張っていたきたいと思います。

【カウンセラー/深谷敏哉】

7月21日からPalo AltoのCookpad子会社にて、インターンとして勤務しているのですが、先週末にこのプロジェクトリーダーでCookpad創業者である佐野さんに、正式なスタッフとしてのコミットメントを打診いただきました。結論を先に申し上げますと、学業のこと、将来の仕事のこと、家族のことなどを総合的に考えた結果、このプロジェクトへの継続的な関与を強く希望しており、是非仲間に入れていただきたい旨、伝えることとなりました。ロータリー財団の皆様から、金銭面だけでなくその他の側面からも大きくご支援いただいた結果実現した留学であるにも関わらず、予めご相談もせず中退することを決定してしまったことに関しては大変申し訳なく思う一方、当初お約束したミッションに対し

ては、自分なりに最も真摯な姿勢で決断したとお伝えできます。受給期間折り返し地点で突然方向転換をすることにより、多大なるご迷惑をおかけすること、深くお詫び申し上げます。なお、以下にもう少し詳細に本件の背景・決断の根拠をお伝えさせていただきます。プロジェクトの詳細についてはCookpad本社でもトップ層の一部にしか共有されていないため申し上げられないのですが、佐野さんは本プロジェクトのために社長職を辞し、その志と決意については11月に彼と働く知人へ会った際、伝え聞いてはいました。その時から、私自身が目指す方向性と極めて近いことは感じていたものの、アメリカのそれもシリコンバレー発という根拠についてはまだ理解しきれておらず、特段自分と接点があるとは思っていなかったのですが、今回実際にお仕事をさせていただき、スタートアップの面白さと難しさ、実業を創り上げていく過程で得られる圧倒的な実体験、そして何よりも自分が心から情熱を注ぎ楽しいと思うテーマにひたすら向き合い続ける喜びにすっかり魅了され、この数週間寝食惜しんで働いていました。

留学を決めた時点から、うすうすと自分の将来が食料バリューチェーンの川下にあることや、それが今まで自分が所属してきたような、所謂大企業や役所ではなくスタートアップ的環境にあることには気がつき始めていたのですが、自分の経験・能力不足から自信を持って具体的なビジョンを描くことが全くできずにいました。そのような自分にとって、やりたいこと、できること、役に立つことなど真ん中に位置するこのプロジェクトに出会えたのは、必然に近いものがあつたと感じています。現在プロジェクトが置かれている状況やチーム体制、そして私自身の成長機会を考慮すると、私が参加するのであれば今以外のタイミングはないということが、大学院を中退してでもこの仕事を続けたいと思った一番の理由です。正直なところ、大学院での勉強自体は特段チャレンジングなこととは何もなく、学業や生活をとおし色々な現場に足を運び人に会うことで、自分の感性を高めることができたというのが、この一年間における最大の成果だと考えています。今が正念場であるプロジェクトを離れ、数ヶ月の座学に加え半年かけて論文を書くことが、既に目の前にある将来よりも重要であるとはどうしても思えず、学位を失い、奨学金返済責務

が残ったとしても、こちらに賭けることを選びたいと強く思いました。ただ誤解のないよう申し上げますと、この一年間があったからこそ、このような機会に迷わず挑戦することが、自分や周囲にとって最善の選択肢であると確信できています。繰り返し、財団関係者の皆様には、当初計画を相談もなしに変更することとしたことを深くお詫び申し上げます。

【大軒恵美子】

—事務局からのお知らせとお願い—

* 例会欠席の場合は、前日までに事務局にご連絡下さい。

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

例会場 ハイアットリージェンシー東京

会長 谷津 和広 副会長 牧野 光洋

幹事 松林 茂 会報委員長 深谷 敏哉

事務局 〒166-0004

東京都杉並区阿佐ヶ谷南 1-34-6 新東京会館

TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958

E-mail: info@tokyocentralpark-rc.com

<http://www.tokyocentralpark-rc.com/>